

●仕様

■ラジオ部

受信周波数 FM/TV(1~3ch): 76~108MHz
AM: 530~1605kHz

アンテナ

FM: ロッドアンテナ
AM: フェライトアンテナ

■テープレコーダー部

周波数特性 100~8,000Hz

■CDプレーヤー部

使用ディスク コンパクトディスク (直径 120mm/80mm)
サンプリング周波数 44.1kHz
周波数特性 20~20,000Hz

■共通部

電源 AC100V、50/60Hz
DC12V 単1形乾電池 x 8本 (別売り)
消費電力 12W
スピーカー 8cm x 2 インピーダンス: 8Ω
実用最大出力 2.1W + 2.1W (EIAJ/DC)
電池持続時間 [単1形乾電池R20PU (SG) 使用時]
約11時間 (EIAJ CD プレーヤー再生)
約38時間 (EIAJ FM 入力信号録音時)
出力端子 ヘッドホン端子 (3.5φステレオジャック)
インピーダンス: 16~68Ω
最大外形寸法 323 (幅) x 177 (高さ) x 235 (奥行き) mm
質量 (重量) 約3.5kg (乾電池含む)
付属品 電源コード x 1

仕様およびデザインは改良のため予告なく変更することがあります。

お客様メモ: サービスを依頼される時、お役に立ちます。

購入店名: _____ 電話: _____
ご購入年月日: 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
—メモ—

◎株式会社 日立製作所
〒105-8430 東京都港区西新橋 2-15-12
TEL(03)3502-2111

227-0805AP-04

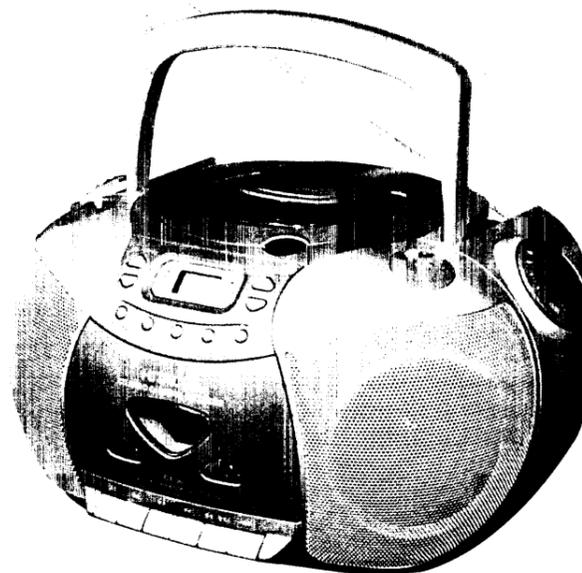
取扱説明書

—品質を大切に (技術の日立)—

日立CDラジオカセットレコーダー

CX-36形

このたびは、日立CDラジオカセットレコーダーをお求めいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後はいつでも見られる所に保証書、ご相談窓口一覧表と共に大切に保管してください。

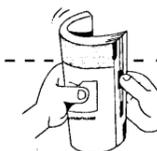


目次

	ページ
安全上のご注意 (必ずお読みください)	2
一般的なご注意	6
特長	7
電源について	8
各部の名称	9
ファンクション切換/電源スイッチについて	10
音量・音質調節のしかた	10
ヘッドホンでお聴きになるときは	10
コンパクトディスクについて	11
CDを演奏してみましょう	12
CD演奏の便利な使いかた	13
・ダイレクト選曲 ・スキップ選曲	
・マニュアルサーチ ・1曲リピート	
・全曲リピート ・プログラム演奏	
放送の受信	16
テープを聴く	17
ラジオ放送を録音する	18
CDを録音する	19
ワンタッチでCDを録音するには	20
故障かな? と考える前に	22
保証とアフターサービス (必ずお読みください)	23
仕様	24

この取扱説明書の見かた

●主な操作は



右側についている
耳でさがせます。

安全上のご注意 (必ずお読みください)

本機を正しく安全にご使用いただくために

<ご使用前に>

絵表示について この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

- △記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
- Q記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
- 記号は必ず実行していただくかなければならない内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

警告

■万一異常が発生したら

- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■表示以外の電圧で使用しないでください

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶や自動車などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■液体の入った容器などを置かないでください

- 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

警告

■風呂場などでは使用しないでください

- 風呂場やシャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機に水が入ったり、ぬれたりしないようにしてください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■雷が鳴り出したら

- 雷が鳴り出したら、アンテナや電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
- 屋外で使用していて、雷が鳴り出したら、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、機器から離れてください。落雷の原因となります。

■電源コードを大切に

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源プラグの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■異物を入れないでください

- 本機の通風孔、カセットテープの挿入口、ディスク収納部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、押し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ふたをはずしたり、改造しないでください

- 本機の裏ふた、キャビネット、カバーは絶対に外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■交通事故に注意してください

- 自動車・オートバイなどの運転中、または自転車に乗りながら、絶対にヘッドホン、イヤホンを使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 歩行中に本機を聴く場合は、特に踏切や交差点などでは周囲の交通に十分注意してください。交通事故などの原因となります。

■電池について

- 乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

安全上のご注意 (つづき)

⚠️ 注意

■ ご使用になる場所について

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 
- 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいでください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いて下さい。ラックなどに入れるときは、本機の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 
- 窓を開めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。 
- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本機には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの背面や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。本機をおお向けや横倒し、逆さまにする。本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。 
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 

■ 電源コードを粗雑に扱わないでください

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電コードの原因となることがあります。 
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 ぬれ手禁止
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。 
- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また電源プラグの刃に触れると感電することがあります。 
- 電源プラグは根元まで差し込んでみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気店にコンセントの交換を依頼してください。 

■ 持ち運ぶときのご注意

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 電源プラグをコンセントから抜く
- 持ち運びをするときは、アンテナをたんでください。伸ばしたまま持ち運びをすると、アンテナが引っかかったり、当たったりなどしてけがの原因となることがあります。 

■ 電池の使用は

- 電池を機器内に挿入する場合は、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 
- 電池は、加熱したり、分解したり火や水の中に入れてしないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。 
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 
- 長期間使用しないとき、常時AC電源でのご使用になるときは、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。 

⚠️ 注意

■ 長期間ご使用にならないとき

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。 電源プラグをコンセントから抜く

■ 特に小さなお子様のいるご家庭では

- 本機に乗ったりしないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。 
- お子様がかセットテープ挿入口、ディスク収納部に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。 指を挟まれないよう注意

■ 音量について

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳に刺激するような大きい音量で長時間続けて聞くと、聴力障害を起こすことがあります。 
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。 
- 電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。 

■ レーザー光線について

- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。 

■ ディスク使用時のご注意

- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。 

■ 日頃のお手入れについて

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。 電源プラグをコンセントから抜く
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。 

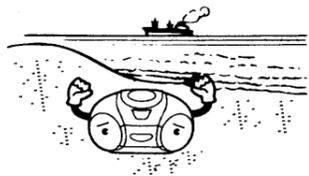
一般的なご注意

使用上のご注意

高温は故障の原因
直射日光のあたる場所やストーブのような熱器具の近く、および炎天下に駐車した自動車内で使用すると、ケースや部品に悪い影響を与えます。



砂は禁物
海辺や砂地では使用しないでください。砂などが内部に入ると故障の原因になります。

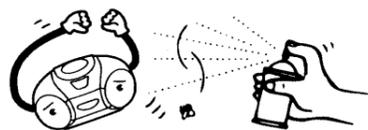


温度差のある所への移動は禁物
寒い所から急に暖かい所への移動は避けてください。故障の原因となります。



お手入れについて

ケースやパネルに殺虫剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどをつけたりすると、塗装がはがれたり変色することがあります。表面の汚れは柔らかい布でふいてください。



結露防止

冷えている本機を暖かい部屋へ急に移すとCDプレーヤー部の信号を読み取るピックアップレンズに水滴がついて（結露現象）、正しく動作しないことがあります。このような場合は、1～2時間待ってから使用してください。

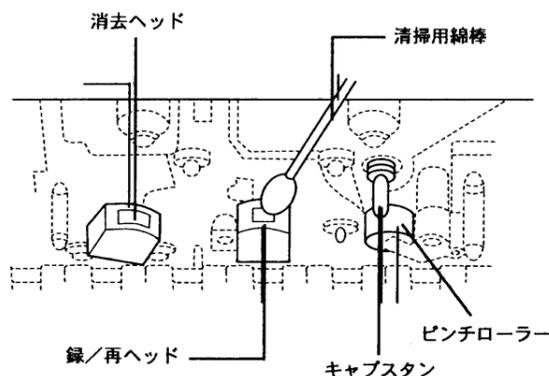


ヘッドの清掃

カセットレコーダーは使っているうちに、ヘッドなどテープ走行面がしだいに汚れます。汚れたままで使うと音がでなかったり、途切れたりします。約10時間使用したら、次の手順でヘッドの清掃を行ってください。

- ① 電源を切り、停止/取出しボタンを押してカセットホルダーを開けます。
- ② 綿棒に市販のクリーニング液をしみ込ませて、ヘッドやピンチローラー、キャプスタンを軽くふきます。

- ヘッドの消磁について
長時間使用して、高い音が出なくなったり、雑音が出たりしたときは、市販のヘッド消磁器でヘッドの消磁を行ってください。



超音波加湿器の使用について

本機の周囲での超音波加湿器の使用は避けてください。本機の周囲で超音波加湿器を使用すると、加湿器に使用する水の水质によっては、水中にとけているカルシウムなどが空气中に飛散し、本機のレンズやセンサーの表面に白い粉として付着し、正常な動作をしなくなることがあります。

コンパクトディスクにゼロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、コンパクトディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

特長

- 操作ボタンを必要最小限にとどめた、操作の簡単なコンパクトCDラジオカセットレコーダー
- 豊かな重低音を再生するダイナミックバスボタンを装備

チューナー部

- AM/FM ワイド放送受信
AM/FM/TV[1ch~3ch]が受信できます。

カセットレコーダー部

- CD シンクロ録音
ワンタッチでCDを録音できます。プログラム演奏と組み合わせれば、ご希望の曲をご希望の順番で録音することもできます。

CD プレーヤー部

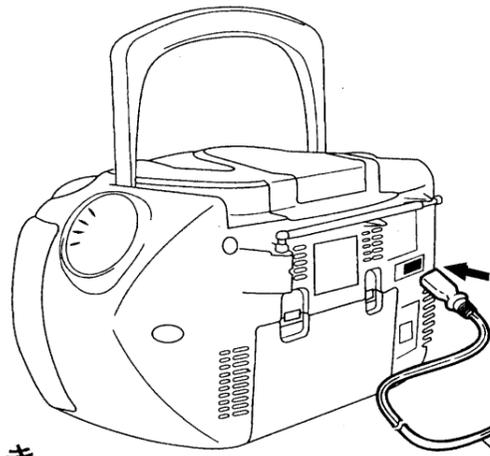
- プログラム演奏
CDの中から最大32曲まで自由にプログラムして演奏できます。
- スキップ選曲
スキップ/サーチボタンを使って演奏中に希望の曲に飛んで演奏をすることができます。
- ダイレクト選曲
スキップ/サーチボタンを使って、希望の曲から演奏を始めることができます。
- マニュアルサーチ
スキップ/サーチボタンを使い早送りまたは早戻しをしながら、すばやくディスクの内容を聴くことができます。
- くり返し演奏
1曲または全曲のくり返し演奏をすることができます。
- 8cm ディスク演奏可能
12cm ディスクに加えアダプターなしでそのまま8cm ディスクの演奏ができます。

■ ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

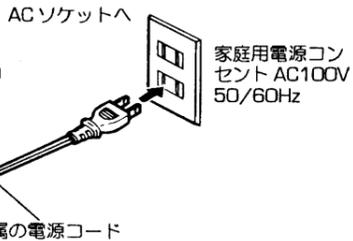
● 電源について

ご家庭の AC100V 電源で使うとき



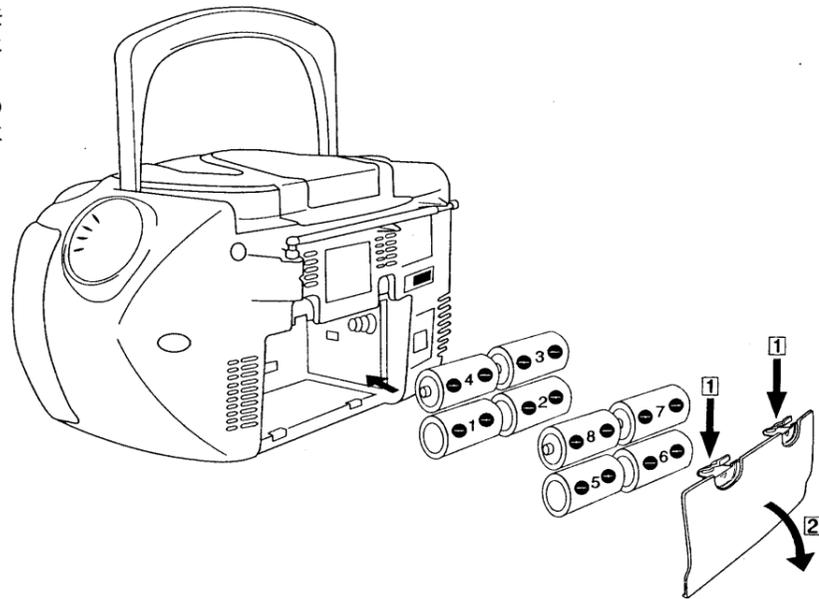
⚠ 注意

- ・表示以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ・万一機器に異常が起こったことを想定し、電源プラグはすぐ抜けるところに接続してください。
- ・長期間ご使用にならない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ・他の電源コードを使用しないでください。故障の原因となることがあります。



乾電池で使うとき

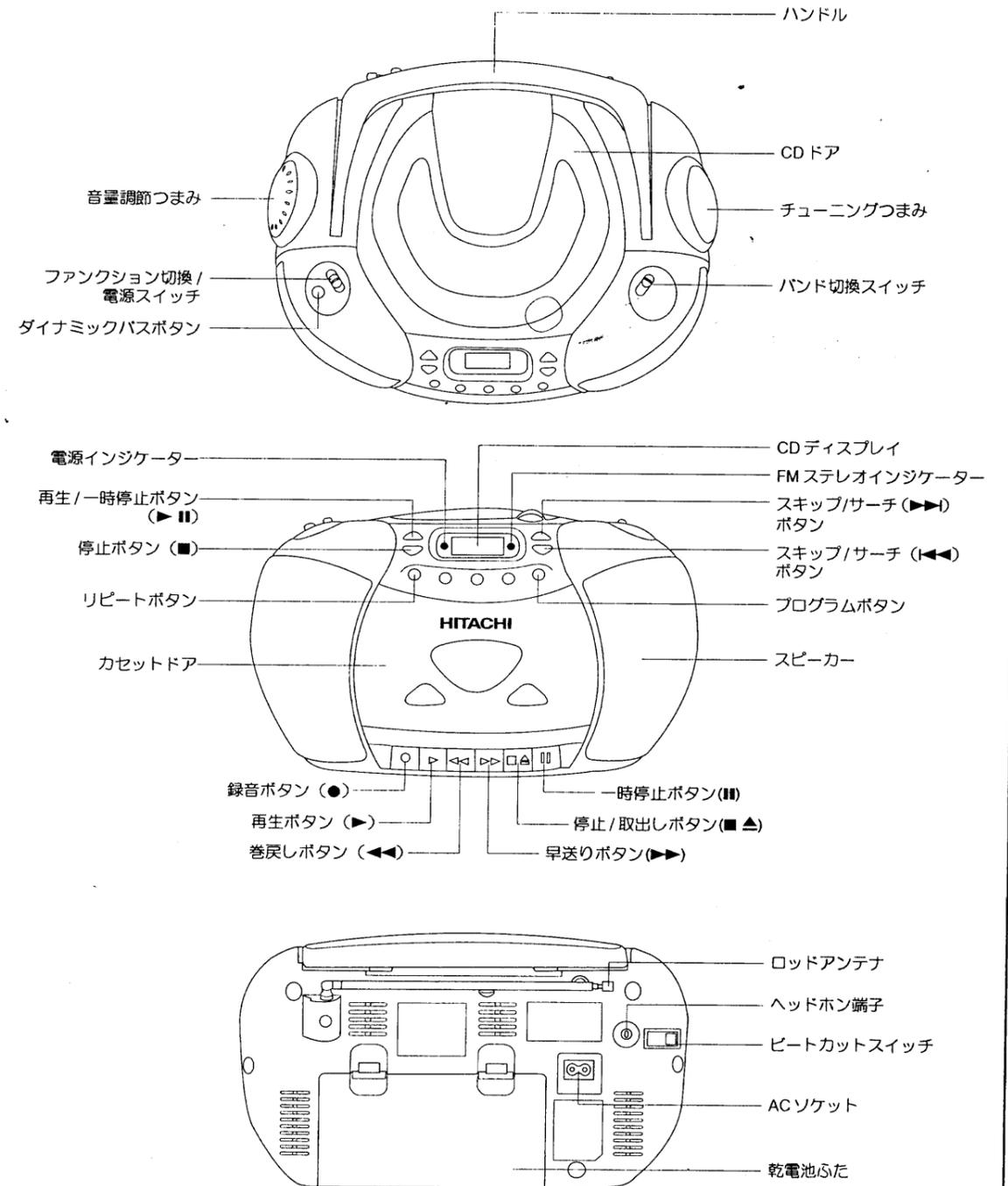
- ① 電池ふたの「つめ」を下に押しながらふたを開けます。
- ② 単1形乾電池(別売り) 8本を番号順に図のように入れます。



● ご注意

- 電源コードが AC ソケットに接続されていると、乾電池では動作しません。(電源コードを抜いてください。)
- 乾電池が消耗するとテープ速度が遅くなり、音がひずんだり、雑音が入るようになります。このようなときは乾電池を 8 本とも新しい乾電池に交換してください。
- 乾電池の誤った使いかたは、液もれや破裂の危険につながります。次の点にご注意ください。
 - ① 乾電池は、⊕プラスと⊖マイナスの向きを間違えないよう、正しく入れてください。
 - ② 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - ③ 種類の異なる乾電池(例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池)を混ぜて使用しないでください。
 - ④ 長期間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から取り出しておいてください。
 - ⑤ 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。

● 各部の名称



注意:

リピートボタンとプログラムボタンの間の3個のボタン形状のものは意匠上の効果のために設けられたもので、機能はありません。押ししても動作に影響しませんが、故障ではありません。

ファンクション切換/電源スイッチについて

ファンクション切換/電源スイッチの使いかた

このスイッチはファンクション切換スイッチと電源スイッチを兼用しています。

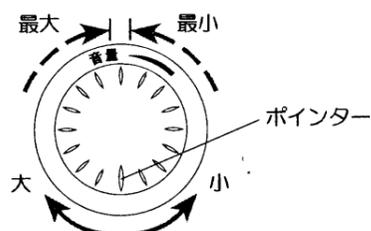


- テープを聴くとき、または電源を切るときはこの位置にします。
- ラジオ放送を聴くときはこの位置にします。電源が入ります。
- CDを聴くときはこの位置にします。電源が入ります。

「電源切」になっていても、テープ操作をすると、電源が入ります。

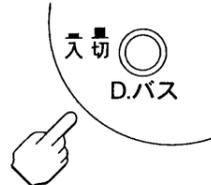
音量・音質調整のしかた

音量調整のしかた



右へ回すと音量が大きくなり、左へ回すと小さくなります。

音質調整のしかた (ダイナミックバス)



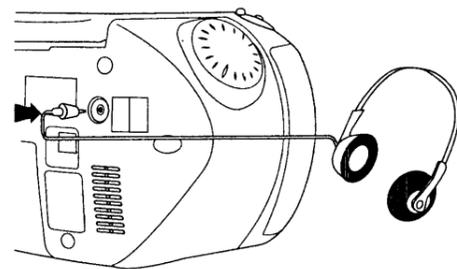
低音の効いた迫力ある音で聴きたいときは、ダイナミックバスボタンを押します。(■入) 切るときはもう一度押します。(■切)

音質にCDについて

本機は、非常に小さな音から大きな音まで再生するため、音量を上げすぎると音がひずんだり、スピーカーを破損する恐れがあります。音量調節の位置に十分注意してください。

ヘッドホンでお聴きになるとき

市販のステレオヘッドホン(ミニプラグ付き)をご用意ください。
ヘッドホンの音量は音量調節つまみで調節します。
ヘッドホンのプラグを差し込むとスピーカーからは音が出なくなります。



ヘッドホンは耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

コンパクトディスクについて



本機のCDプレーヤーで演奏できるディスクは、左記のマークがついているものです。

■ディスクの取出しかた



① 右手で左右を持ち、左手で上下を持ってフタを開けます。



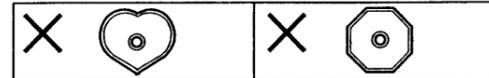
② センターホルダーを押さえながらディスクを持ち上げます。



③ ディスクの縁を持ち、表面に触れないよう扱ってください。

■ディスクについてのご注意

- コンパクトディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、コンパクトディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- ディスクレーベル面に~~CD~~のマークが入ったものなど、IEC規格に合致したものをご使用ください。
- ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。



取り扱いですぐ

- 指紋、油、ゴミなどをつけないでください。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で内側から外側に向けてふいてください。



- 熱を加えないでください。



- 曲げたりしないでください。



- 表面に傷をつけないように、特にケースからの出し入れには注意してください。



- 中心の穴を大きくしないでください。



- レーベル面(印刷面)にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。



- ベンジン、シンナー、水、レコードスプレー、静電防止剤、シリコンクロスなどでふかないでください。



- 屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと、表面に水滴がついて演奏できないことがあります。このときは、乾いた柔らかい布で水滴をふいて乾燥させてから使用してください。なお、水滴はヘッドライヤー等で乾かさないうでください。

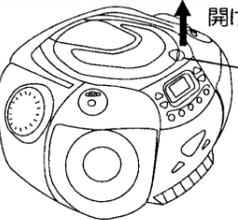
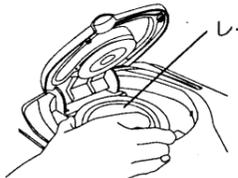
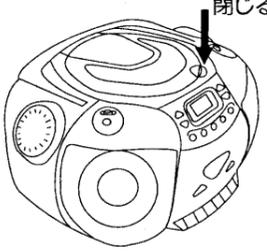
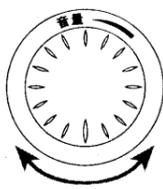


保管にCDについて

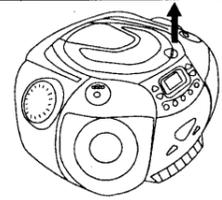
- 長期間本機を使用しないときは、必ずディスクを本機から取り出してください。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 次のような場所には置かないでください。ディスクに反りなどが生じて、演奏できなくなることがあります。
 1. 直射日光が長時間あたる場所。
 2. 湿気、ほこりが多い場所。
 3. 暖房器具などの熱が当たる場所。

● CD を演奏してみよう

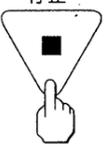
たとえば 12 曲入りのディスクの 1 曲目から演奏するには

<p>1 ファンクション切換スイッチを「CD」にする</p>  <p>ディスク無し</p>	<p>2 CD ドアを開ける</p>  <p>指かけ部</p> <p>CD ドアの右手前の指かけ部に指をかけて上に開けます。</p>
<p>3 ディスクをセットする</p>  <p>コンパクトディスクのレーベル面を上にしてディスクターンテーブルの中央に確実にのせます。正しくのせないとディスクを傷めることがあります。</p>	<p>4 CD ドアを閉じる</p>  <p>総曲数</p>
<p>5 演奏を始める</p>  <p>再生/一時停止</p> <p>点灯</p> <p>演奏中の曲番</p>	<p>6 音量を調節する</p>  <p>くわしくは 10 ページをご覧ください。</p>

使き終らたら

<p>7 ディスクを取り出す</p>  <p>必ず停止ボタンを押してから CD ドアを開けてください。ディスクを取り出したら CD ドアを閉めます。</p>	<p>8 電源を切る</p>  <p>「テープ/電源切」の位置にします。</p>
--	---

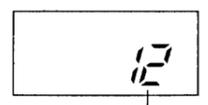
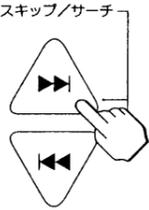
演奏を一時停止するには 演奏を途中で止めるには

<p>再生/一時停止</p>  <p>点灯</p> <p>演奏が一時停止しますが、ディスクは回転しています。もう一度ボタンを押すと、止めたところから演奏を始めます。</p>	<p>停止</p>  <p>総曲数</p> <p>すべての演奏が終了したときは、自動的に止まります。</p>
---	---

● CD 演奏の便利な使いかた

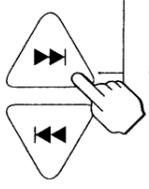
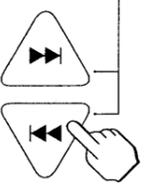
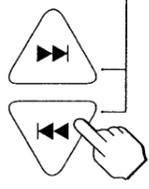
好きな曲目から演奏始めるには... ダイレクト選曲

■たとえば 12 曲入りのディスクの 3 曲目から演奏を始めるとき

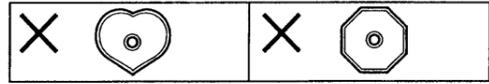
<p>1 停止状態から操作します</p>  <p>総曲数</p>	<p>2 曲番を選ぶ</p>  <p>3 回押す</p> <p>スキップ/サーチ</p> <p>選んだ曲番が点灯</p>	<p>3 演奏を始める</p>  <p>再生/一時停止</p> <p>点灯</p>
--	--	---

演奏中に好きな曲へ飛ぶには... スキップ選曲

■たとえば 5 曲目を演奏中のとき

<p>次の曲(6 曲目)を聴く</p>  <p>「ボン」と 1 回押す</p> <p>スキップ/サーチ</p> <p>押す回数により、次の曲、次の曲へと移ります。</p>	<p>もう一度(5 曲目)を聴く</p>  <p>「ボン」と 1 回押す</p> <p>スキップ/サーチ</p> <p>1 回押すと、今聴いている曲の頭に戻ります。</p>	<p>前の曲(4 曲目)を聴く</p>  <p>「ボン」「ボン」と 2 回押す</p> <p>スキップ/サーチ</p> <p>連続して 2 回押すと前の曲に戻り、押す回数により前の曲、前の曲へと戻ります。</p>
---	--	--

ご注意

- 演奏中に CD ドアは絶対に開けないでください。故障の原因になります。CD ドアは必ず停止ボタンを押してから開けるようにしてください。
 - 持ち運びながらの演奏などで、本機に衝撃が加わると音とびが生じることがありますが、これは故障ではありません。
 - ディスク収納部に異物を入れたり、CD ドアの開閉時に無理な力を加えないでください。故障の原因になります。
 - CD プレーヤーを使用しないときは、ゴミやホコリを防ぐため、CD ドアを閉じておいてください。
 - テレビの近くで CD を演奏すると、テレビの画面や音声に影響を与えることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
 - コンパクトディスクにセロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのまま CD プレーヤーにかけると、コンパクトディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
 - ディスレーベル面に  のマークが入ったものなど IEC 規格に合致したものをご使用ください。
 - ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。
 - 演奏中に特殊形状のディスクの取り出しを行った場合、高速回転により、ディスクが飛び出したり、手指を切傷するおそれがあるなど大変危険です。
- (特殊形状のディスクの例)
- 

CD演奏の便利な使いかた(DJさ)

演奏中にすばやく好きなところをさがすには... マニュアルサーチ

演奏中にスキップ/サーチボタンで早送り/早戻しができます

早送り (前進)	早戻し (後退)

- 演奏中にスキップ/サーチボタンを押し続けると、音を聴きながら好きなところをさがせます。
- マニュアルサーチ中は、通常の演奏より小さな音になります。
- 早戻しでマニュアルサーチ中にディスクの1曲目の始めまで戻ると指を離したとき1曲目の始めから演奏が始まります。また早送りでも最終曲の終わりまでくると停止状態になります。

1曲だけをくり返し演奏するには..... 1曲リピート

停止状態あるいは演奏中でも操作できます。

たとえば12曲入りのディスクの3曲目をくり返し演奏するには

1 曲番を選ぶ	2 1曲リピートモードにする	3 演奏を始める

全曲をくり返し演奏するには..... 全曲リピート

停止状態あるいは演奏中でも操作できます。

1 全曲リピートモードにする	2 演奏を始める

くり返し演奏の取り消し

	<ul style="list-style-type: none"> ● リピートボタンを押し (1曲リピートの場合は2回、全曲リピートの場合は1回) リピートインジケータを消灯させます。 ● 停止ボタンを押して演奏を停止したときも、くり返し演奏は取り消されます。
--	--

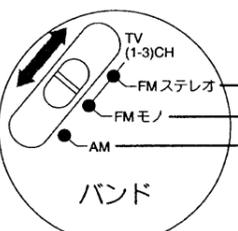
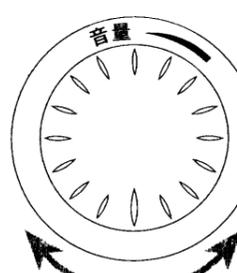
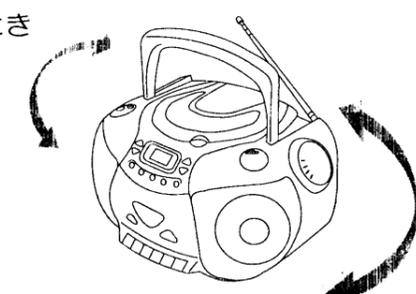
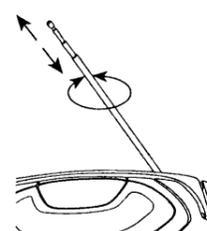
CD演奏の便利な使いかた(DJさ)

好きな曲を選び好きな順番で演奏するには... プログラム演奏

お好みの曲をお好みの順番で再生することができ、最大32曲まで予約できます。同じ曲を2回以上予約することもできます。

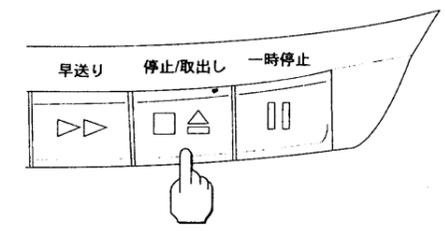
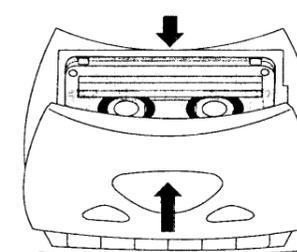
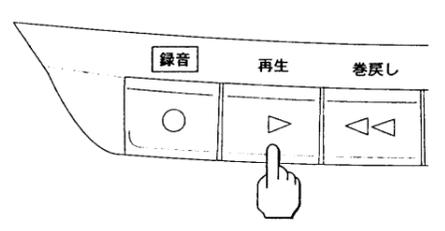
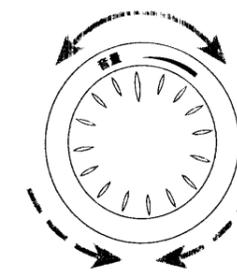
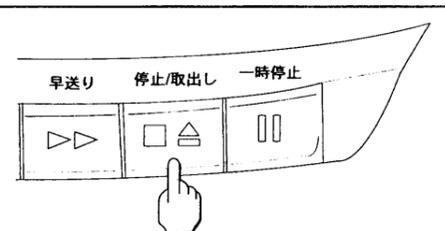
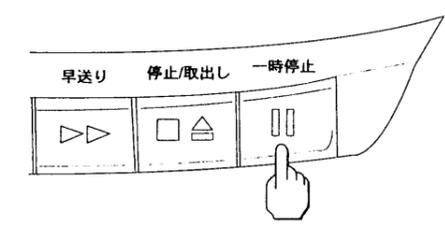
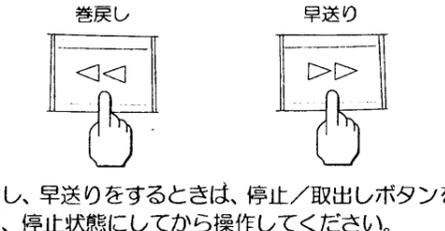
1 停止状態から操作します	
2 プログラムモードにする	3 プログラムする曲番を選ぶ
4 1曲目をプログラムする	5 2曲目以降をプログラムするには
	<p>プログラム1曲目に曲番5がプログラムされ、2曲目プログラム待機状態になります。</p> <p>3と4の操作を繰り返します。</p>
6 演奏を始める	7 プログラム演奏を停止するには
8 プログラムを解除するには	
<p>停止状態からプログラムボタンを押し、停止ボタンを2回押す</p>	<p>または CD以外のファンクションにする</p>

● 放送の受信

<p>1 ファンクション切換スイッチを「ラジオ」にする</p> 	<p>2 バンドを切替える</p>  <p>FM放送をステレオで聴くとき FMステレオ放送を受信するとFMステレオインジケータが点灯し、ステレオでお聴きになれます。</p> <p>FM放送をモノラルで聴くとき FM放送をステレオで聴くとき雑音が多かったり、音声途切れるような場合にはこの位置にします。ステレオで聴くことはできませんが雑音や音切れが軽減されます。</p> <p>AM放送を聴くとき</p> <p>●TV(1~3ch)およびAM放送は常にモノラル受信となります。</p>
<p>3 放送局を選ぶ</p> 	<p>4 音量を調節する</p>  <p>くわしくは10ページをご覧ください</p>
<p>5 アンテナの向きを調節する</p> <p>AM放送を聴くとき</p>  <p>本機をゆっくり回して雑音小さく、放送がきれいに聴こえる方向を選びます。</p> <p>FM放送, TV放送を聴くとき</p>  <p>ロッドアンテナを伸ばし、方向、長さを調節して雑音小さく、放送がきれいに聴こえる位置を選びます。</p>	
<p>6 聴き終わったら電源を切る</p> 	<p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、テレビ放送を受信していると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。 ● 本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用していますので、地域によってはTVの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

● テープを聴く

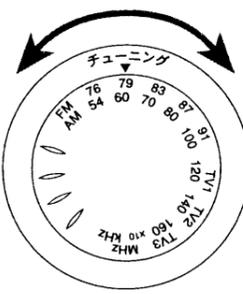
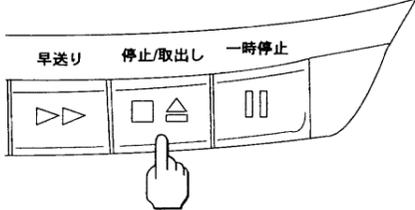
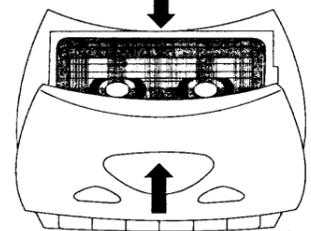
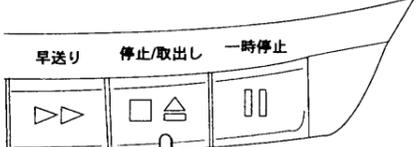
■本機で再生できるテープはノーマルテープ (TYPEI) のみです。

<p>1 ファンクション切換スイッチを「テープ」にする</p> 	<p>2 カセットドアを開ける</p> 
<p>3 テープを入れる</p>  <p>テープの見える方を下にして再生したい面を手前にして入れ、カセットドアをしめる。</p>	<p>4 再生を始める</p> 
<p>5 音量を調節する</p>  <p>くわしくは10ページをご覧ください。</p>	<p>聴き終わったら</p> <p>6 テープを止めて取り出す</p>  <p>2回押す</p>
<p>再生中の一時停止</p>  <p>再生するときにはもう一度押します。</p>	<p>巻戻し、早送りは</p>  <p>巻戻し、早送りをするときには、停止/取出しボタンを押して、停止状態にしてから操作してください。巻戻し、早送りをやめるには停止/取出しボタンを押します。</p>

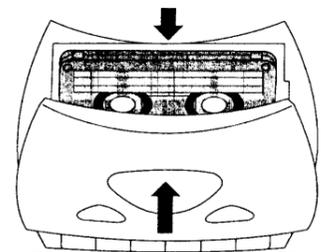
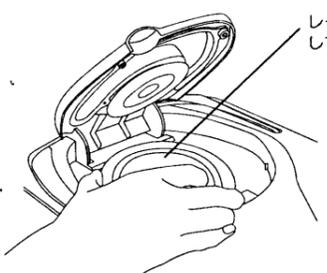
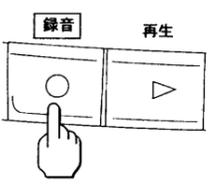
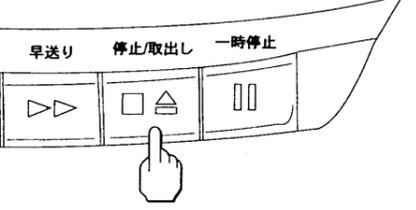
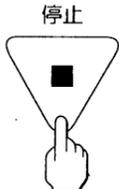
放送受信
テープ再生

● ラジオ放送を録音する

■本機で録音できるテープはノーマルテープ (TYPEI) のみです

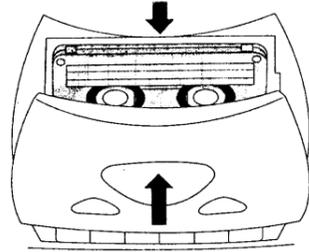
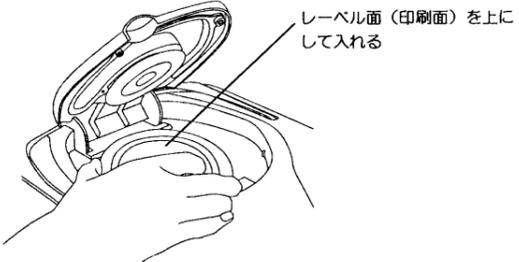
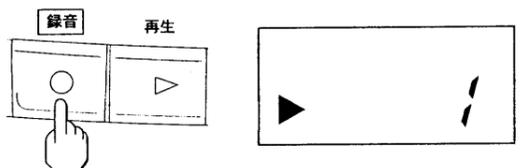
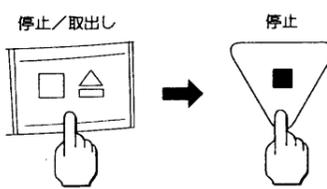
<p>1 ファンクション切換スイッチを「ラジオ」にする</p> 	<p>2 バンドを切替える</p>  <p>くわしくは 16 ページをご覧ください</p>
<p>3 放送局を選ぶ</p> 	<p>4 カットドアを開ける</p> 
<p>5 テープを入れる</p>  <p>テープの見える方を下にして再生したい面を手前にして入れ、カセットドアをしめる。</p>	<p>6 録音を始める</p>  <p>録音ボタンを押します。 再生ボタンも同時に押されます。 ● 録音レベルは自動的に調整されます。</p>
録音が終わったら	
<p>7 テープを止めて取り出す</p>  <p>2回押す</p>	<p>8 電源を切る</p>  <p>「テープ/電源切」の位置にする</p>

● CD を録音する

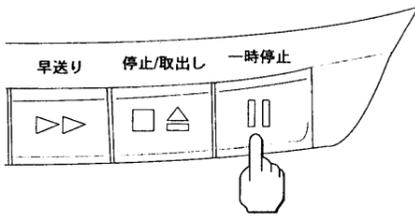
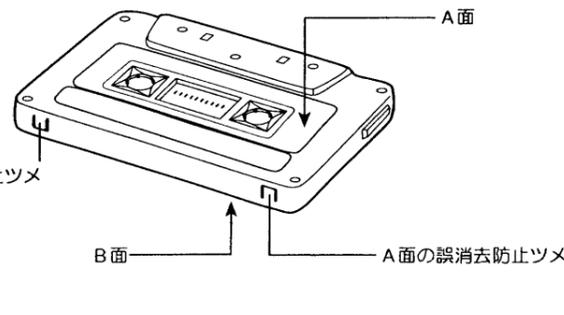
<p>1 テープを入れる</p>  <p>17ページ「テープを聴く」の2~3の操作を行います。 あらかじめリーダーテープの部分を巻き上げておくと頭切れのない録音ができます。</p>	<p>2 ファンクション切換スイッチを「CD」にする</p> 
<p>3 ディスクをセットする</p>  <p>レーベル面 (印刷面) を上にして入れる</p> <p>12ページ「CDを演奏してみましょう」の2~4の操作をおこないます。</p>	<p>4 録音する曲を選ぶ</p> <p>スキップ/サーチ</p> <p>選んだ曲から録音が始まります。このとき曲をプログラムしておくことでプログラムした曲順に録音されます。プログラムのしかたは15ページ「好きな曲を選び好きな順番で演奏するには」をご覧ください。</p>  <p>曲番 6 を録音するとき</p>
<p>5 録音を始める</p>  	<p>6 録音を停止するには</p> 
<p>7 CD の演奏を停止するには</p>  <p>自動的にCDの演奏がスタートし、CD録音が始まります。 録音レベルは自動的に調整されます。</p>	

テープ再生

● ワンタッチでCDを録音するには…CDシンクロ録音

<p>1 テープを入れる</p>  <p>17ページ「テープを聴く」の2~3の操作を行います。あらかじめリーダーテープの部分を巻き上げておくと頭切れのない録音ができます。</p>	<p>2 ファンクション切換スイッチを「CD」にする</p> 
<p>3 ディスクをセットする</p>  <p>12ページ「CDを演奏してみましょう」の2~4の操作を行います。</p>	<p>4 CDシンクロ録音開始</p>  <p>自動的にCDの演奏が1曲目からスタートし、CD録音が始まります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 録音レベルは自動的に調整されます。
<p>録音が終わったら。</p>	
<p>5 停止ボタンを押す</p>  <p>テープの停止/取出しボタンを押します。その後、CDの停止ボタンを押してCDを停止させます。</p>	<p>6 ディスクとテープを取り出し、電源を切る</p> <p>ディスクとテープを取り出します</p> 

テープ録音について

<p>録音を一時停止するには</p>  <p>録音を再開するときは、もう一度押します。</p>	<p>録音するときのご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大切な録音の場合は、必ず事前に試しに録音して正常に録音されていることを確認してください。 ● ご使用中、万一本機やテープなどの不具合により録音されなかった場合の録音内容の保証については、ご容赦ください。 ● 本機で録音再生できるテープはノーマルテープ (TYPE I) のみです。ハイポジションテープおよびメタルテープでの録音はできません。(音質が悪くなったり、録音済みの音が消えない現象が起きます。) ● 100分以上の長時間テープは大変薄く伸びやすいため、機械に巻き込んだりすることがありますので使用しないでください。 ● 本機でエンドレステープは使用できません。
<p>録音内容を消去するには</p> <p>録音済みのテープに新しく録音すると、前の録音内容は消えますが、新しい録音をしないで前の録音内容を消したいときは、次のようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ファンクション切換えスイッチを「テープ」にして録音の操作を行います。 	
<p>上手に録音するには</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 録音を停止するときに一時停止ボタンを押してテープを一時停止させてから停止/取出しボタンを押すと、録音終了時のノイズを避けることができます。 ● カセットテープの巻きはじめと巻き終わりの部分には、透明または半透明のリーダーテープがありますが、この部分には録音できません。鉛筆などを使ってあらかじめリーダーテープの部分を巻き上げておくと頭切れのない録音ができます。 ● AM放送を録音中、「ピー」というビート音が出る場合は、後面のビートカットスイッチを切り換えてビート音が最も小さくなる位置にします。 	
<p>大切な録音内容を誤って消さないようにするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 録音したものを誤って消してしまうのを防ぐには、カセットのツメを折ります。  <p>穴の上にセロハンテープを貼ると、録音ができるようになります。</p>	
<p>著作権について</p> <p>あなたが本機で録音したものは、個人で楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。(23ページ参照)</p>	

テープ録音

● 故障かな？と考える前に

正常に動作しない場合は、下表により点検してみてください。それでも具合が悪い場合は、ご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店にご相談ください。なおアフターサービスについては23ページをご覧ください。

症状		原因と思われるところ	適切な処置方法
共通部	電源が入らない。	1. 電源コードの接続が不完全。 2. 乾電池が消耗している。 3. 乾電池の向きがまちがっている。 4. 電源コードをACソケットに差し込んだまま、乾電池で動作させようとしている。	1. 確実に接続する。 2. 新しい乾電池と交換する。 3. 乾電池の向きを正しく入れる。 4. 電源コードをACソケットから抜く。(8ページ参照)
	スピーカーから音が出ない。	1. 音量調節が最小になっている。 2. ヘッドホンが接続されている。	1. 音量調節つまみで音量を上げる。 2. ヘッドホンをはずす。
CD部	CDプレーヤーが演奏しない。	1. ディスクが裏返しになっている。 2. ディスクが汚れている。 3. 規格外のディスクを使用している。 4. ディスクに傷があったり、そっている。	1. ディスクを入れなおす。 2. ディスクの表面をきれいにふく。 3. ディスクを交換してみる。 4. ディスクを交換してみる。
	CDの音が途切れる。	1. ディスクに傷などの欠陥がある。 2. ディスクが汚れている。	1. ディスクを交換してみる。 2. ディスクの表面をきれいにふく。
ラジオ部	FM放送のとき “シャー”という音が出る。 特にステレオ受信時にめだつ。	1. アンテナの入力電波が弱い。	1. ロッドアンテナの方向を変えてみる。 モノラル受信モードにする。(16ページ参照)
	AM放送のとき “ジー”という音が出る。 特に夜間や電波の弱い局ほど大きい。 “ブーン”という音(同調ハム)が出る。	1. セットの近くにある電気器具(テレビ、蛍光灯)の影響を受けている。	1. 電気器具の電源を切ったとき、雑音が消えるときは、その器具からセットを離す。 2. 電源プラグの差し込みを逆にすれば直ることがあります。
テープ部	カセットテープが入らない。	1. カセットテープの向きが上下逆になっている。	1. テープが見える側を下にして入れる。
	テープの音が悪かったり、ひずんだりする。	1. ヘッドが汚れている。 2. 乾電池が消耗している。	1. ヘッドを清掃する。(6ページ参照) 2. 新しい乾電池と交換する。
	録音できない。	1. カセットテープの誤消去防止「ツメ」が折れている。 2. 一時停止ボタンが押されている。	1. 「ツメ」を確認する。(21ページ参照) 2. 一時停止ボタンを押し、一時停止を解除する。
	録音ボタンが押せない。	1. カセットテープが入っていない。 2. カセットテープの「ツメ」が折れている。	1. 「ツメ」の折れていないカセットテープを入れる。 2. 「ツメ」の折れていないカセットテープを入れる。または、折れた「ツメ」の穴をテープでふさぐ。(21ページ参照)

保証とアフターサービス (必ずお読みください。)

修理を依頼される時は

本機が正常に動作しないときは、「故障かな？と考える前に」(22ページ)をお調べください。それでも不具合の場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。
アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。
①形名: CX-36
②症状: できるだけ詳しく

転居される時は

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取り扱い店を紹介させていただきます。

アフターサービスなどで困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店が別紙(黄色用紙、「ご相談窓口一覧表」)のご相談窓口にお問い合わせください。

保証について

●この商品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の保有期間について

CDラジカセットレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

著作権について

あなたがラジオ放送やレコード、録音物などから録音したものは個人として楽しむなどの場合は著作権法上、権利者に無断で使用できません。

音楽の作詞、作曲などは一般に著作権法によって保護されていますが、放送やレコード、録音物(ミュージックテープなど)の作品も同じように著作権法により保護されています。従って音楽そのものやレコード、録音物あるいはそれらから録音したテープなどの使用には一定の制限があります。
たとえば
●放送やレコード、録音物から録音したテープを売ったり、配ったりすること、あるいは貸し借りしたり、譲ったり、交換したりすること。
●レコードや録音物またはそれらから録音したテープや、放送から録音したテープを営利(店のBGMなど)のために使用すること。これらの場合には著作権法上権利者の許諾を必要とします。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会(JASRAC)」もしくは各支部におたずねください。

社団

- 日本音楽著作権協会(JASRAC)
〒105 東京都港区西新橋1-7-13
TEL (03)3502-6551 (大代表) FAX (03)3508-8183
- 北海道支部(業務地域 北海道)
〒060 札幌市中央区北1条西3-2 大和銀行札幌ビル
TEL (011)221-5088 (代表) FAX (011)221-1311
 - 盛岡支部(業務地域 岩手・青森・秋田)
〒020 盛岡市盛岡駅前通15-20 ニッセイ盛岡駅前ビル
TEL (019)652-3201 (代表) FAX (019)652-4010
 - 仙台支部(業務地域 宮城・山形・福島)
〒980 仙台市青葉区中央2-1-7 仙台三和ビル
TEL (022)264-2266 (代表) FAX (022)265-2706
 - 長野支部(業務地域 長野)
〒380 長野市南千歳2-12-1 日本団生生命長野ビル
TEL (026)225-7111 (代表) FAX (026)223-4767
 - 大宮支店(業務地域 埼玉・栃木・群馬・新潟)
〒331 大宮市桜木町1-7-5 ソニックシティビル
TEL (048)643-5461 (代表) FAX (048)643-3567
 - 上野支部(業務地域 東京都23区の城東地区・茨城)
〒110 東京都台東区上野2-7-13 交通公社・安田火災上野共同ビル
TEL (03)3832-1033 (代表) FAX (03)3832-1040

- 東京支部(業務地域 東京都23区の東部・千葉)
〒104 東京都中央区銀座1-15-6 共同ビル銀座1丁目
TEL (03)3562-4455 (代表) FAX (03)3562-4457
- 西東京支部(業務地域 東京都23区の西部)
〒160 東京都新宿区新宿5-17-5 新宿中央ビル
TEL (03)3232-8301 (代表) FAX (03)3232-7798
- 東京イベント・コンサート支部(業務地域 東京都・千葉・茨城・山梨)
※コンサートや、イベント等における演奏・上映等
〒160 東京都新宿区新宿5-17-5 新宿中央ビル
TEL (03)5286-1671 (代表) FAX (03)5286-1670
- 立川支部(業務地域 東京都の市・郡部・山梨)
〒190 立川市曙町2-22-20 立川センタービル
TEL (0425)29-1500 (代表) FAX (0425)29-1515
- 横浜支部(業務地域 神奈川県)
〒231 横浜市中区本町1-3 緑通横浜ビル
TEL (045)662-6551 (代表) FAX (045)662-6548
- 静岡支部(業務地域 静岡県)
〒420 静岡市御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル
TEL (054)254-2621 (代表) FAX (054)254-0285
- 中部支部(業務地域 愛知・岐阜・三重)
〒450 名古屋市中村区名駅2-45-7 松岡ビル
TEL (052)583-7590 (代表) FAX (052)583-7594
- 北陸支部(業務地域 石川・富山・福井)
〒920 金沢市香林坊2-3-25 金沢日産生命ビル
TEL (0762)21-3602 (代表) FAX (0762)21-6109
- 京都支部(業務地域 京都・滋賀・奈良)
〒600 京都市下京区四條通烏丸東入ル長刀鉈町8京都三井ビル
TEL (075)251-0134 (代表) FAX (075)251-0414
- 大阪支部(業務地域 大阪南部・和歌山)
〒542 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL (06)244-0351 (代表) FAX (06)244-1970
- 大阪北支部(業務地域 大阪北部)
〒542 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL (06)244-7077 (代表) FAX (06)244-1970
- 神戸支部(業務地域 兵庫県)
〒650 神戸市中央区海岸通6番地 建隆ビルII
TEL (078)322-0561 (代表) FAX (078)322-0975
- 中国支部(業務地域 広島・岡山・山口・鳥取・島根)
〒730 広島市中区胡町4-21 朝日生命広島胡町ビル
TEL (082)249-6362 (代表) FAX (082)246-4396
- 四国支部(業務地域 香川・徳島・高知・愛媛)
〒760 高松市寿町2-2-10 住友生命高松寿町ビル
TEL (0878)21-9191 (代表) FAX (0878)22-5083
- 九州支部(業務地域 福岡・大分・佐賀・長崎・熊本)
〒812 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル
TEL (092)441-2285 (代表) FAX (092)441-4218
- 鹿児島支部(業務地域 鹿児島・宮崎)
〒892 鹿児島市東千石町1-38 アイムビル
TEL (099)224-6211 (代表) FAX (099)224-6106
- 那覇支部(業務地域 沖縄)
〒900 那覇市久茂地1-3-1 久茂地セントラルビル
TEL (098)863-1228 (代表) FAX (098)866-5074

その他